

関係機関の長 殿
関係学部等の長 殿

東京大学地震研究所長
小原一成(公印省略)

教員の公募について

このたび、当研究所では下記の要領で教員を公募いたします。
つきましては、関係各位に広くお知らせいただき、適任者の推薦および応募について、よろしく
お取り計らいくださるようお願いいたします。

記

1. 公募人員：年俸制助教（任期付） 1名
2. 所属：採用後に決定
3. 研究分野：史料地震火山学分野
過去に発生した地震・火山噴火とこれに付随する災害に関する歴史資料を収集・整理するとともに、それに基づき地震・火山現象の長期間にわたる履歴を明らかにする。将来の地震・火山噴火の発生の予測に資するために、この成果と現代の地震学・火山学的知見を統合して、過去から現在までの活動様式を解明する。前近代の歴史資料を解読する能力を求める。
4. 採用予定時期：平成28年4月1日以降のできるだけ早い時期
5. 応募資格：博士の学位を有する者(学位取得見込者を含む)または同等の能力を持つ者
6. 任期：平成32年3月31日まで(再任はありません)
7. 提出書類：【提出書類は返却しません】
 - (1) 東京大学統一履歴書(本学様式を http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html よりダウンロードのうえ使用してください)
 - (2) 研究業績リスト(査読の有無を区別すること。投稿中の論文も含む。)
 - (3) 主要論文の別刷り3編程度(コピー可)
 - (4) 研究業績の概要(2000字程度)
 - (5) 今後の研究計画(2000字程度)
 - (6) 応募者について参考意見をうかがえる方(2名)の氏名と連絡先とe-mailアドレス
8. 応募締切：平成28年1月8日(金) 午後5時必着
9. 問い合わせ先：東京大学地震研究所 地震火山噴火予知研究推進センター 加藤尚之
TEL: 03-5841-5812 E-mail: nkato@eri.u-tokyo.ac.jp
10. 応募書類提出先：〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学地震研究所 庶務チーム(人事)宛
封書を用い、表に「史料地震火山学分野 助教 応募書類在中」と朱書きし、書留郵便で送付してください。

◎ 東京大学は2009年3月3日「男女共同参画加速のための宣言」を発表しました。この宣言に基づき、教員・研究員の公募の際に、女性の応募を歓迎します。



平成27年12月14日

関係機関長および関係各位

京都大学防災研究所長
寶 馨

教員の公募について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とする全国共同利用の研究所であり、5研究部門・6附属研究センターによって構成されています。平成22年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職 種： 教授
2. 募集人員： 1名
3. 勤務場所： 総合防災研究グループ 巨大災害研究センター 災害情報システム研究領域
(所在地：宇治市五ヶ庄)
4. 職務内容：
総合減災システムの確立をめざして、巨大災害の被害の軽減に資する災害情報に関する研究を理論的かつ実践的に推進する。とくに、情報システム科学の立場から、災害発生前、発生時、および発生後の社会の対応を情報処理過程としてとらえて、効果的な被害軽減、災害対応、復旧・復興を可能にするための情報システムの開発と評価に関する研究を、学際的かつ国際的に進める。また、京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻の教育を担当する予定である。
5. 資格等： 博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
6. 採用予定日： 選考後できるかぎり早い時期
7. 任 期： なし
8. 勤務形態： 専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季休業日
9. 給与・手当等： 本学支給基準に基づき支給
10. 社会保険： 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入

1 1. 応募方法： 次の (1)~(6) 各一式

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
- (3) 主要論文別刷（コピー可）5編
- (4) 研究業績の概要（A4用紙2枚以内）
- (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2枚以内、説明図の利用可：これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
- (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先）

1 2. 書類提出先：

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
巨大災害研究センター 災害情報システム研究領域 教授候補者選考委員会 宛
（封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書き、郵送の場合には書留にすること）

1 3. 応募締切： 平成28年2月15日（月）【必着】

1 4. 選考方法： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。

1 5. 問い合わせ先：

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
巨大災害研究センター 災害情報システム研究領域 教授候補者選考委員会 宛
e-mail:apply_staff@dpri.kyoto-u.ac.jp
（封書あるいは電子メールに限る）

1 6. その他：

応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。
なお、京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。

巨大災害研究センターの概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

巨大災害研究センターは、巨大災害による被害の軽減に関する研究を、自然科学と社会科学を融合した視点から進めています。これは、近年の巨大災害が、自然のハザードに起因する直接被害のみならず、人生や生活の破壊、地域文化に対する打撃、経済被害など、間接被害をも甚大化させている点、すなわち、巨大災害が人間社会を破壊する点を踏まえたものです。

こうした視点にたって設置された巨大災害研究センターは、巨大災害過程研究領域、災害情報システム研究領域、災害リスクマネジメント研究領域、国際情報ネットワーク研究領域（外国人客員）、歴史災害史料解析研究領域（客員）、地域災害研究領域（客員）、以上6つの研究領域を有し、総合的、学際的、かつ長期的な視点に立った防災・減災研究を推進しています。

巨大災害過程研究領域

本研究領域の研究テーマは、「総合減災システムの確立と実践的防災学の構築」です。安全・安心な社会を実現するために、巨大災害による被害を軽減するための研究を、社会科学・自然科学を融合して行っています。特に、社会科学の立場からは、災害情報、防災教育、災害文化のあり方を提案し、真に「実践的な」防災学とは何かを探っています。

災害情報システム研究領域

社会現象としての災害学理の究明と、効果的な防災の実現を目標としています。とくに、災害発生前、発生時、および発生後の社会の対応を情報処理過程としてとらえて、効果的な被害軽減、災害対応、復旧・復興を可能にするための情報システムの開発と評価に関する研究を進めています。

災害リスクマネジメント研究領域

本研究領域は、巨大災害がもたらす被害の軽減を理工学と社会科学が協同して取り組むべき研究課題としてとらえ、そのための研究をリスクマネジメントの観点から行っています。また、この研究課題を、都市や地域、国土などの総合的なリスクマネジメントの一環と位置づけ、学際融合的かつ国際的な研究領域として発展させることを目的として多角的な研究を推進しています。

このほかに、下記の2つの客員部門と1つの外国人客員部門があり、上記の3研究領域でカバーできない研究領域を有機的に補完する活動を担っています。

歴史災害史料解析研究領域（客員）

地域災害研究領域（客員）

国際情報ネットワーク研究領域（外国人客員）

2. 現在の教員構成

平成27年12月1日現在の教員構成は以下のとおりです。

| | |
|------------------|------------------------------------|
| 巨大災害過程研究領域： | 教授 矢守克也 准教授 (選考中) 助教 (選考準備中) |
| 災害情報システム研究領域： | 教授 (今回公募) 准教授 (選考準備中) |
| 災害リスクマネジメント研究領域： | 教授 Ana Maria CRUZ 准教授 横松宗太 |
| 情報ネットワーク研究領域： | (外国人客員准教授) James D. Goltz |
| 歴史災害史料研究領域： | (客員教授) 矢野桂司 (客員准教授) ハッ塚一郎 |
| 地域災害研究領域： | (客員教授) 中谷内一也 (客員准教授) 西野智研 |

共同利用・共同研究拠点について

個々の大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用したり共同研究を行う「共同利用・共同研究」のシステム、全国共同利用研究所として、防災研究所は共同利用や共同研究を推進してきましたが、平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

なお、京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

**Professor Position in the Disaster Information Systems Laboratory,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University**

December 14th, 2015

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Professor position.

Location: Disaster Information Systems Laboratory, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan.

Job description and required qualification: The appointed professor is requested to conduct theoretical and practical research related to risk reduction caused by huge disasters, especially, from a perspective of disaster information systems sciences. He/she is requested to carry out interdisciplinary and international research on development and evaluation of disaster information systems, contributing to effective disaster preparedness, response, and recovery. He/she is also expected to contribute to education in the Department of Social Informatics, Graduate School of Informatics, Kyoto University. The successful applicant is expected to have a Ph.D. or its equivalent and to be proficient in Japanese.

Starting date: As soon as possible after the selection.

Working conditions: Working hours: 38 hours 45 minutes per week under full-time employment in a discretionary working system. Days off: Saturdays, Sundays, public holidays, Year-end and New Year holidays, University Foundation Day, and summer vacation.

Salary and benefits: To be determined in accordance with the existing employment regulations of Kyoto University.

Insurance: (1) Health and Pension Insurance covered by the National Government Employee's Mutual Aid Association. (2) Unemployment Insurance, and (3) Worker's Compensation.

Applicants should prepare the following material:

- (1) Curriculum vitae
- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters or names and contact information of two references (include

addresses, fax numbers, and e-mail addresses)

The complete application package must arrive by the deadline of Feb. 15th, 2016 (JST) at the following address:

Selection Committee for Disaster Information Systems Laboratory Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

For inquiries, send e-mail to apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>.

Kyoto University is an equal opportunity employer.

書陵部図書課研究職員募集要項

- 募集人員 1名
- 採用後の職務 (1) 宮内庁内各部局からの歴史資料として重要な公文書の移管に関する業務
(2) 公文書管理法に基づく利用請求についての審査業務
(3) 利用請求者等からの照会等への対応業務
(4) 館所蔵公文書に関する情報システム及びデータベースの構築・管理に関する諸業務
(5) 館所蔵公文書の保存環境の整備に関する業務
(6) 展示会の企画調整、準備、実施等の利用促進に関する諸業務
(7) 館所蔵公文書に関する調査・研究
(8) 当庁業務に習熟するための若干年の他部署での業務
- 採用後の処遇 国家公務員・内閣府事務官・研究職
給与：学歴・経験等を考慮し、「一般職の職員の給与に関する法律」に基づき決定する。
- 勤務時間 原則、午前8時30分から午後5時15分（土・日・祝日を除く）
- 勤務場所 東京都千代田区千代田1-1 宮内庁書陵部図書課宮内公文書館
- 応募資格 (1) アーカイブズ学、図書館情報学、記録管理学、日本史学（近現代史）、法学、政治学等を専攻し、明治初期から戦前期にかけての文書等（翻刻されていないもの）を読解し、当時の時代状況、法制度等に即して記載内容を正確に把握し、かつ説明する能力を有すると認められる者
(2) 上記の専門教育課程を経て大学院修士課程（博士課程前期）を修了した者（採用時点で修了している見込みのある者を含む）、あるいはそれと同等以上と認められる者
(3) 心身共に健全で、永年勤続可能な者
(4) 簡単なパソコンの操作（Excel, Word, 一太郎等）ができること
なお、以下に該当する者は応募できない。
(1) 日本国籍を有しない者
(2) 国家公務員法（昭和22年法律第120号）第38条の規定により国家公務員となることができない以下の者
・ 成年被後見人又は被保佐人
・ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は執行を受けることがなくなるまでの者
・ 懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
・ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で

破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

採用予定時期 平成28年4月1日

応募書類 (以下の全件を一括して提出すること)

- (1) 履歴書 (写真貼付) 1通
- (2) 大学学部卒業証明及び成績証明 各1通
- (3) 大学院修了 (若しくは修了見込) 証明及び成績証明 各1通
- (4) 志望動機 (1,000字以内、様式任意) 1通
- (5) 業績目録 1通

書式は自由とするが、著書・論文などの種類別 (かつ発表順) にまとめ、連名の業績については、応募者の分担範囲を明示すること。また、博士論文・修士論文・卒業論文は業績目録に含め、1,200字以内の要旨を別途添えること。

- (6) 主要業績 (抜刷・コピー可) 3点以内

※なお、上記以外の書類 (推薦書等) の提出は御遠慮願います。

書類送付先 〒100-8111 東京都千代田区千代田1-1

宮内庁書陵部図書課庶務係長 伊藤あて

必ず簡易書留とし、封筒の表に「図書課研究職応募書類在中」と朱記すること。

なお、不採用となった場合は、応募書類は返却するので、宛先を明記の上、返信用切手 (簡易書留・送付時と同額) を貼付した返信用封筒 (送付時と同型のもの) を同封すること。

書類受付期間 平成27年12月25日 (金) から同28年1月25日 (月) (必着)

選考方法 書類選考で適格と判断した者について、面接等の試験及び健康診断を行って採否を決定する。

採否の通知 採用内定者には電話連絡する。また、不採用とする者には文書で通知する。

照会先 〒100-8111 東京都千代田区千代田1-1

宮内庁書陵部図書課庶務係長 伊藤

電話03-3213-1111 (内線3433)

関係大学長殿
関係機関長殿

福岡大学人文学部長 星 乃 治 彦
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領により専任教員を公募することになりました。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴学関係部門（関係者）への周知方ならびに適任者のご推薦方、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 採用職名 専任講師または准教授
- 募集人員 1名
- 担当科目 共通教育英語および英語学科専門科目（アメリカ文化・文学関連科目）
(研究分野) (アメリカの文化・文学に係る研究)
- 待遇 給与および諸手当は本学給与規定の定めによる。なお、本学の定年年齢は65歳です。
- 着任時期 平成29年4月1日から
- 国籍 国籍は不問。日本語を母語としない場合は、学内業務に必要な日本語運用能力を有すること。
- 応募資格 (下のイ、ロ、ハの条件をすべて満たす者)
(イ) 着任時に博士前期課程修了後3年以上の研究歴を有する者
もしくは、大学・短大・高専での十分な教育歴及び研究業績のある者（最終学歴不問）
(ロ) 上記3.の「担当科目」をすべて担当できる（英語で授業を行うことができる）者
(ハ) 通算で1年以上のアメリカでの生活経験を有する者が望ましい（履歴書に期間を明記すること）
- 募集締切 **平成28年2月29日（月）応募書類必着**
- 応募書類 (イ) 履歴書（本学所定の書式による） 連絡先を明記。
(ロ) 研究業績書（本学所定の書式による） 主要業績3点に○印を付す。
(ハ) 教育業績書（教育歴を有する者のみ。本学所定の書式による）
(ニ) 職務実績書（職務実績のある方のみ。本学所定の書式による）
(ホ) 主要業績3点（著書・論文）の実物またはコピー
(ヘ) 英文エッセイ（タイトル：English Education in Japan: My Response to the Challenges Facing University Teachers）（A4版用紙1枚程度）
※（イ）（ロ）（ハ）（ニ）の書式は本学ホームページ（<http://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/koubo/>）よりダウンロードしてください。
- 書類提出先 〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学人文学部長 星乃 治彦 宛
※応募書類には封筒に『アメリカ文化・文学応募書類』と朱書きし、書留郵送にすること。
※応募書類（著書・論文を含む）は原則として返却いたしません。返却を希望される場合はその旨お申し出ください。
- 問い合わせ先 福岡大学 Tel: 092-871-6631（代表）
人文学部英語学科 大島由起子 Tel: 内線 3505 E-mail: oshima-y@fukuoka-u.ac.jp
- 選考について 一次選考（書類選考）合格者に対し、二次選考（面接および模擬授業）を行います。二次選考は別途連絡します。